

# 三豊市の現状

## 財政

市運営の基本はなんといっても財政です。今月はその三豊市の財政状況について簡単ですが公開します。どのように改革し健全化するかということは、現在、行政改革推進委員会で中期財政計画を検討中ですので、ここでは三豊市財政の現状だけをお知らせします。

### 自治体が倒産する？

高度経済成長期の頃の日本は、行政には「打ち出の小づち」があり、その上、国家という親方日の丸がついているので自治体財政がつぶれることはないと思われてきました。

しかし今日、「行政に倒産はない」という考え方は過去のものとなっています。現に先日、夕張市が財政再建団体（企業でいう倒産）となりました。

これは夕張市に限ったことではなく、自治体の破綻は今後も続く可能性があります。それほど全国各地この自治体も財政状態は厳しさを増しています。

### 夕張市と比べてみると

夕張市と三豊市を比較すると次

	夕張市	三豊市
一人あたり地方債残高	1,007千円	433千円
起債制限率	17.0%	10.9%
経常収支比率	116.3%	93.9%
財政力指数	0.22	0.44

の表のようになります。

出典：北海道庁 HR 平成 16年度決算市町村財政比較分析表)より

・「経常収支比率」は、人件費のように経常的な支出を市税や交付税など経常的な収入で割った数値。75%が適当とされている。100%を超えると危険水域に入ったと言われる。  
 ・「財政力指数」は、財政力の強さを示す指標で、1に近いほど財政状況は良好。

夕張市の場合、この上に新聞でも報道されたように一時借入金という、その年度内に返済しなければならぬ短期間でまわしている借金が約300億円もあったことが致命傷になっています。その一時借入金は、一人あたりの地方債残高には入っていません。三豊市の場合、合併後の一時借入金はゼロです。しかし、三豊市もかなり危険なところまできてい

ると言わざるをえません。

### 3年後には貯金がゼロに

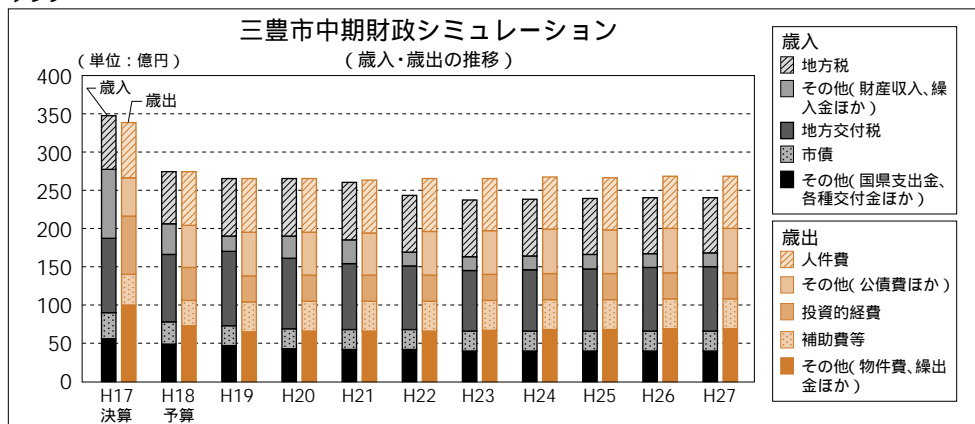
三豊市となった旧7町の財政状況は、慢性的な財源不足にあり、そのままの厳しい財政を継承した平成17年度の三豊市の決算では、経常収支比率が93・9%と著しく硬直化しており、累積債務は約308億円、その利子は年間6億3千万円と一時的な事業の抑制だけでは、もはや財源不足を緩和できる状態にはありません。

平成18年度予算においては、財政調整基金等（預金）を24億4千万円取り崩して財源不足を補いました。

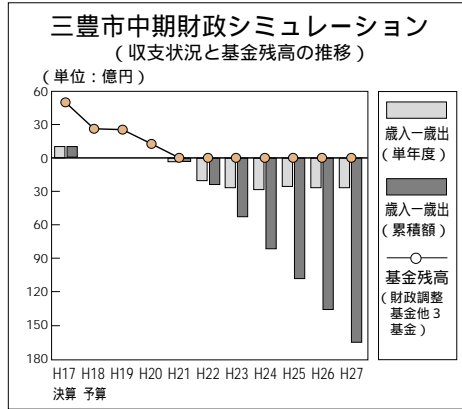
このままのペースで行くと、3年後の平成21年度には財政調整基金も底をつくこととなり、今後さらに増加すると予想される扶助費等の義務的経費や国保・老人保

三豊市長 横山 忠始

グラフ



グラフ



現在、行政改革推進委員会や議会の行財政改革調査特別委員会ではこのシミュレーションを参考

フです。円にもなりません。それが次のグラフです。

三豊市が中期財政計画策定のため、行政改革推進委員会に提示した平成17年度末における今後10年間の財政シミュレーション(財政予測)は、前ページのグラフのようになります。

このままいけばどうなるのか?

健康・介護保険特別会計等に対する繰り出し金の増加などを踏まえると、まさに市の財政は危機的状況にあると言えます。

三豊市会計別地方債残高見込み (平成18年9月1日現在 単位: 千円)

会計名	平成18年度現在高
一般会計	30,744,046
国民健康保険診療所事業特別会計	291,864
集落排水事業特別会計	1,334,308
浄化槽整備推進事業特別会計	1,289,369
水道事業会計	6,736,473
永康病院	675,038
西香川病院	847,980
計	41,919,078

なお土地開発公社は、保有土地代金借入金として 3,798,095,992円

次に、一般会計だけでなく三豊市に関する借金すべてを公開しますと左の表のようになります。

総額 450 億円の借金

3年後には貯金はなく、毎年2030億円の赤字会計になって、10年後にはその累積赤字が165億円にもなります。それが次のグラフです。

三豊市が中期財政計画策定のため、行政改革推進委員会に提示した平成17年度末における今後10年間の財政シミュレーション(財政予測)は、前ページのグラフのようになります。

このままいけばどうなるのか?

健康・介護保険特別会計等に対する繰り出し金の増加などを踏まえると、まさに市の財政は危機的状況にあると言えます。

実質公債費比率は、一般財源のうち借金返済額の割合を示す指標で、公営企業や一部事務組合への繰り出し金も含まれます。比率が少ないほど財政状況は良好です。この比率が18%以下であれば、県に届出をするだけで許可を求め

実質公債費比率(速報値)

市名	実質公債費比率(%)
丸亀市	12.0
三豊市	13.0
観音寺市	13.2
高松市	16.3
普通寺市	16.7
東かがわ市	17.5
坂出市	19.7
さぬき市	21.7

報値は次のようになります。

三豊市の財政状況を、県内他市と比較してみましよう。平成17年度決算における経常収支比率等はまだまだ出ていませんが、県が8月29日に公表した実質公債費比率の速報値は次のようになります。

改めて見るといつそつ気が引き締まります。

一般会計、特別会計、企業会計、土地開発公社すべてを合わせた、資産があるとはいえ約450億円もの借金を抱えているのが三豊市の現状です。

実質公債費比率は8市中2位ですが...

まだまだ不十分で、詳細な報告ではありませんが、このようなことが基本になって、現在、行政改革推進委員会や議会の行財政改革調査特別委員会で、熱い議論が戦わされています。

収入を増加させ、支出を削減するための継続した努力が本市には求められています。財政力の弱い三豊市は、本当に用心深い財政運営が必要です。

県内8市の財政力指数比較表(平成16年度)

ちなみに、財政力指数(財政力の強さを示す指標で、数値が1に近づくほど財政状況は良好)では、県内8市のうち最下位の8番目です。

財政力指数は8市中8位

ることなく借金をすることができません。県内では三豊市はまずまずのところにはいますが、ここだけで財政を見ても十分ではありません。

県内8市の財政力指数比較表(平成16年度)

市名	財政力指数
坂出市	0.862
高松市	0.845
観音寺市	0.664
丸亀市	0.656
普通寺市	0.548
東かがわ市	0.485
さぬき市	0.460
三豊市	0.439

出典: 香川県市町行財政要覧(平成18年2月)より